

(令和6年1月23日発表)

 あさはたゆうすいち
麻機遊水地
初春の草原の風物詩 火入れの実施

◆ アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> 伊豆や富士高原などでも初春に行われており、麻機遊水地では2016年から9回目の実施です。(2021年のみ中止) 草地を活性化させる火入れを実験的に行います。 実験結果は自然再生や地域活性化に向けた取り組みの検証資料とします。
◆ 日時・期間	令和6年1月28日(日) 午前9時00分～11時30分 ※ 前々日(26日) 午後4時頃までに実施決定します。火災の危険性を避けるため、当日に、「強風注意報」「異常乾燥注意報」等が発表された場合は中止します。また、前記注意報の確認のため、開始が若干遅くなる場合があります。実施不可の場合は2月4日(日)に延期します。 実施確認は協議会HP [https://asabata.org/] をご覧ください。
◆ 場 所	麻機遊水地第3工区(葵区牛田) 巴川北側
◆ 内容など	火入れは草地表面の枯草を燃やし、古い草葉を除くことで新たな芽吹きを促し、灰が肥料となって草花の生育を助けるものです。 国立環境研究所 気候変動適応センター <small>にしひろしゅん</small> 西廣 淳 氏(麻機遊水地保全活用推進協議会 自然再生部会「生態系の保全活用勉強会」班長)の指導のもと、ヨシやオギ、カヤの生い茂る麻機遊水地第3工区のうち実験区域8,200㎡に火入れを行います。 実験後、火入れの有無・草刈りの有無で異なる条件となる箇所の植物の生育状況を比較検証し、効果的・効率的な植生管理手法確立のための資料とします。 ※火入れは表面を火が走っていくため、燃焼時間はすぐに終了する可能性があります。 ※延焼予防のため、千代田消防署のご協力をいただいています。
◆ 主催	麻機遊水地保全活用推進協議会は、麻機の自然環境を保全・再生創出し、地域の活性化につなげていくことを目的とした協議会です。

 別紙資料 有 ~~一~~無

【問合せ】 緑地政策課 大規模公園係 (静岡庁舎 7F)
 担当 中島 堀井
 電話 054-221-1251 (平日)
 090-7043-7116 (土日)

ぜひ取材をお願いします

麻機遊水地火入れ作業の開催計画書

<目的>

効果的・効率的な植生管理手法の確立のため、冬季の枯れヨシ焼きを行い、その効果を検証する。

<実施日>

火入れ : 2024年1月28日(日)

予備日 : 2024年2月4日(日)

<参加予定者(案)>

麻機ウェットランドクラブ、ベーター麻機部会、国立環境研究所、静岡土木事務所、静岡市ほか

<当日のスケジュール>

■火入れ : 2024年1月28日(日)

9:00 集合、事前説明等

10:00 着火(エリア1)

10:30 着火(エリア2)

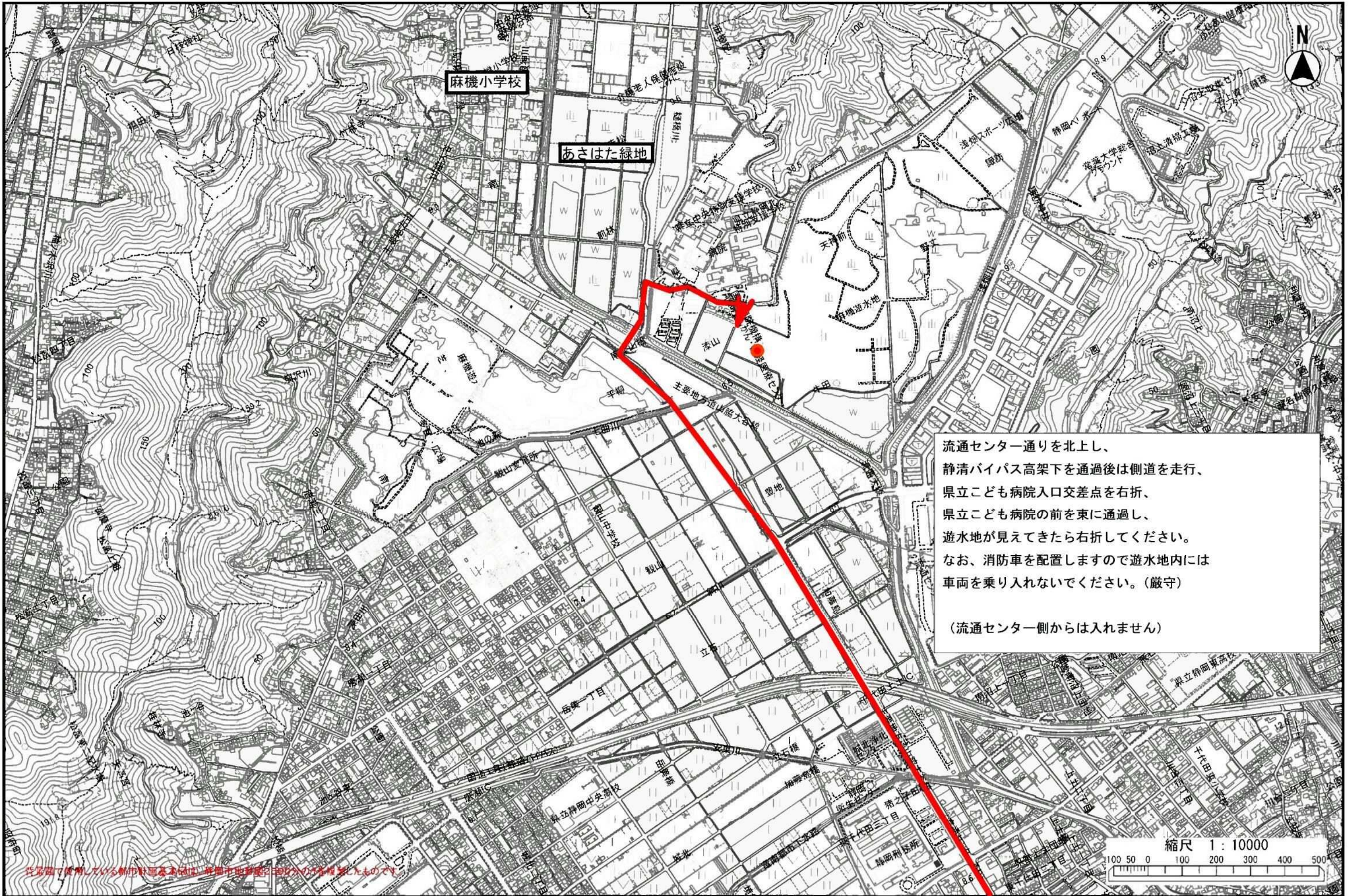
11:00 消火確認

11:30 終了予定

<位置図>

麻機遊水地第3工区内





流通センター通りを北上し、
 静清バイパス高架下を通過後は側道を走行、
 県立こども病院入口交差点を右折、
 県立こども病院の前を東に通過し、
 遊水地が見えてきたら右折してください。
 なお、消防車を配置しますので遊水地内には
 車両を乗り入れないでください。(厳守)

 (流通センター側からは入れません)

本図面で使用している都市計画基本図は、詳細な地形図(200分の1)を縮小したものです。